

伴走型支援の主な内容

項目	団体の持つ課題／ニーズ（例）	伴走支援メニュー（案）	伴走支援内容（例）
助成事業の実施	「実施中止」とならないよう、感染症拡大のリスクに備えた事業実施における留意点を知りたい	コロナ渦の事業継続計画（BCP） 事業計画変更支援	・感染拡大時を想定しながら、「継続」、「中止」、「オンライン可」等を整理する仕組みの構築をサポートします。
	事業を確実に成功させたい	事業評価支援	・団体のビジョン、ミッションを基に、事業評価の観点から事業の成功の定義を定性、定量的に設定するサポートを行います。 ・定義した「成功」に向けて、事業を実施できるような体制整備をサポートします。
	事情により当初計画を一部変更しなければならなくなった	事業評価支援 事業計画策定支援	・事業の目的や期待する成果を再確認したうえで、目標再設定、再設定した目標を実現するための事業計画を再構築するサポートを行います。
助成事業終了後	助成事業終了後もしっかり事業を継続させたい	事業評価支援 ステークホルダー分析支援	・助成事業期間内に培ったノウハウを組織内に蓄積させるためのサポートをします。
	事業継続に当たっての、資金やスタッフ確保が課題	ボランティア募集支援 ファンドレイジング支援 事業計画策定支援	・活動の継続、発展に必要な財源を明確化したうえで、獲得に向けた戦略策定&実行をサポートします。（別の助成金獲得、クラウドファンディング 等のご提案） ・今ある資源の中で実施可能な計画づくり、他団体と協力した実施体制構築をサポートします。
組織運営	デジタル化を進めたい	広報支援 ICT活用支援	・組織診断を行い、組織、事業運営における強みと課題を抽出します。 ・抽出した強みを活かし、課題を解決するためのデジタルツール導入をサポートします。 （例：SLACKを導入して、組織内のコミュニケーションを促進、蓄積する仕組み構築）
	会計処理や決算の作業が大変で困っている	会計支援	・現状の事務局体制を見直し、適切な会計の仕組みをご提案します。 ・会計ツールの見直し、導入をサポートします。 ・必要に応じて業務乗り切り出し、外注にむけてのサポートをします。
	団体を設立したばかり／新たに事業を始めたばかりで組織が整っていない	ビジョン、ミッションの明確化支援 事業計画策定支援 組織基盤強化支援 ファンドレイジング支援	・自団体が目指すビジョン、ミッションを明確化したうえで、それを実現するための組織、事業、財源戦略策定を行い、短期～長期でやるべきことを明確化するサポートを行います。
	スタッフ、ボランティアが足りるか心配	ボランティア募集、広報支援	・業務プロセス、工数を一緒に整理して、必要な人員数を明確化します。 ・スタッフやボランティアを募集するための広報媒体の設定をサポートします。
情報発信	効果的な情報発信を行いたい	広報支援	・自らの情報を「誰に伝えたいのか」を整理したうえで、ターゲットに適切に届けるための情報発信ツールの選択及び導入をサポートします。
他機関連携	行政、企業、大学などの他機関と連携するためのヒントがほしい	ステークホルダー拡充支援 ビジョン、ミッション明確化支援 事業評価支援	・自団体が目指すビジョンと事業をの整合させた上で、それらと親和性がある企業や大学との対話、連携をサポートします。北海道NPOサポートセンターのネットワークに接続している企業や大学とお繋ぎします。